

第356回 飯山満神社・仏閣巡り

5K

日時
集合場所

R7年7月11日(金) 9時15分
新京成線薬園台駅下車西口 駅前広場

5分前には受付終了下さい

★集合場所で待ち時間に余裕のある方。(下記、俱利伽羅不動尊を散策して下さい。 **出発時間に注意**)

(コース) 滝台八幡神社 → 王子神社 → 光明寺 → 飯山満大宮神社(休憩) 15分
→ 東福寺 → ゆるぎ地蔵 → 東葉門 → 東葉高速飯山満駅で流れ解散(11:50分頃)

【集合時間に余裕ある方】俱利伽羅不動尊

元禄6年(1639年)の地図に記された、300年以上の不動尊。

俱利伽羅不動尊とは俱利伽羅竜王と不動尊を一つにした名前。

火災の中の宝剣は不動尊、黒龍は俱利伽羅竜王を表現。

① 滝台八幡神社(はちまんじんじゃ)

八幡神社は延宝四年(紀元一六七五年)に、此の地に奉られたものであります。

斎神は誉れの別名がありますが別名とは即ち人皇第十五代應神天皇の御事にて帝は大変仁慈深き御方でありました。人のその徳を慕い、奉られてものと伝えられています。

② 王子神社

二宮村上飯山満に鎮座す。建御名方命を祀る。本殿間口意見奥行五尺五寸、拝殿間口三間奥行二間、境内五百六十一坪、境内神社稻荷神社、浅間神社。氏子三十戸あり。(「千葉縣千葉郡誌」より)

③ 光明寺

真言宗。『真言本末』に印旛郡宇那谷村(千葉市花見川区)大聖寺の末寺として載せられている。『県寺明細』には「文亀壬戌年六月創立、(中略)尊慶法印開基」云々とある。文亀二年(一五〇二)の創立だといっているのであるが、それを確認できる文献・遺物は知られていない。(「船橋市史」より)

④ 飯山満大宮神社

船橋市飯山満町にある神社です。飯山満町大宮神社の創建年代等は不詳ながら、江戸期には上飯山満村高野地区の鎮守として祀られてきました。

⑤ 東福寺

本尊薬師如来を安置し、寶徳二年十月の創立なり。開宗祖弘法大師法孫分派、開祖興教大師法孫澄尊開基、寺格色一色、堂宇間口七間奥行五間半、境内四百十三坪あり。境内佛同一宇大師堂と稱す。當寺所有地四町二反六畝六歩信徒數百人あり。(「千葉縣千葉郡誌」より)

⑥ ゆるぎ地蔵

上飯山満高野の「揺るぎの松」が枯れ、木食僧(もくじきそう)観信がこの巨木を使って二体の地蔵菩薩を彫った。一体は飯山満の「ゆるぎ地蔵」もう一体は、薬円台の「木っば地蔵」。

⑦ 東葉門(旧近藤四郎左衛門家長屋門)

旧家近藤四郎左衛門家の屋敷の長屋門として造られたもので、「東葉門」の名称で同校の正門として活用されている。また、この門は国の登録有形文化財に登録されている

班編成：1班(老大19～市大11期) 2班(市大12～市大20期) *先頭2班

下見：R7年 5月27日(火)曇り 吉田 熊谷 原

誘導：2班 先頭：原、四宮、加藤、 歩行指導注意：(井上)

1班 先頭：熊谷、上杉、美濃輪、田中、 後尾：吉田

船橋市いきいき同窓会「歩こう会」

【集合場所】京成線 薬園台駅 西口駅前広場 受付後 俱利伽羅不動尊を探索、又は駅前広場待機して下さい。

- ①八幡神社 →地域住民から「滝台八幡神社」という名でも親しまれている神社で、深い信仰に支えられ、今日までその姿を伝えています。
- ② 王子神社 →祭神は建御名方神を祭る飯山満三丁目に唯一の産土様で旧下総の国上飯山満村でも最も古く、現在の神社は文政五年再建
- ③ 光明寺 →真言宗。『真言本末』に印旛郡宇那谷村(千葉市花見川区)大聖寺の末寺として載せられている。
- ④ 飯山満大宮神社 →創建は中世の頃と伝えられ、旧上飯山満村高野の鎮守であった。神社は、旧集落の東のはずれに位置している。
- ⑤ 東福寺 →。真言宗豊山派の寺院。明治6年(1873年)飯山満尋常小学校の開校時に仮校舎として本殿が使用された。
- ⑥ ゆるぎ地蔵 →「揺ぎの松」と呼ばれていた巨松樹が枯死したのを惜しんだ村人が、木食僧の権大僧都阿闍梨観信に依頼して地蔵尊を2体製作
- ⑦ 東葉門 →旧家近藤四郎左衛門家の屋敷の門として使われていたもので、「東葉門」の名称で同校の正門として活用保存されています。

